

人件費増に事業者苦悩

県内最低賃金 きょうから1001円

過去最高51円アップ



最低賃金の引き上げを告知するポスター＝岐阜市金竜町、岐阜台同庁舎

岐阜県の最低賃金が10月1日、時給950円から1001円に引き上げられる。引き上げ額は51円、引き上げ率が5・37%で、ともに最低賃金を時給のみで算定するようになった2002年度以降で最高となる。アルバイトとパートの時給も一段と上がることになり、中小企業や小規模事業者から悲鳴が上がっている。（松浦健司）

リクルートによると、求人媒体「タウンワーク」「fromエナジ」の掲載情報を集計した県内の8月のアルバイト・パート募集時の平均時給は、前年同月比37円（3・6%）増の1075円だった。物価上昇と人手不足を背景に、ほぼ毎月上昇を続ける。

岐阜市内の3店舗を中心に県内外でカフェを運営するアイ・ドゥー・キューブ（同市）は、県内店舗で最下限の時給を950円から1001円に引き上げる。もともと

千円以上だったアルバイトの時給もスライドして上げざるを得ず、後藤とみ社長は「原材料費も上がる中、メニューの価格を大きく上げるわけにはいかず、本当に厳しい」と打ち明ける。

岐阜、愛知両県でデイサービスと老人ホームを展開するアルト（同市）も、950円ほどの清掃、調理場スタッフの時給を上げる。小森薫社長は「介護は制度ビジネスで決まりがあり、できないことが多い」とこぼす。介護事業所の

改正年度	最低賃金(時給)	引き上げ額
2015年	754	16
16	776	22
17	800	24
18	825	25
19	851	26
20	852	1
21	880	28
22	910	30
23	950	40
24	1001	51

※単位は円

県最低賃金の推移

人材獲得競争が激化／価格転嫁進まず

収入に当たる介護報酬と最低賃金はそれぞれ別機関が決めており、介護報酬に対して最低賃金が見合っていないという。小森社長は「施設の稼働率を上げてカバーするしかない」と語る。

一方、観光地である高山市の宿泊業は、最低賃金水準で働き手を確保できず、最低賃金を大きく上回る時給で募集するケースがある。約75軒が加盟する飛騨高山旅館ホテル協同組合によると、1100円～1200円の求人が多いという。中畑稔常務理事は「1400円の募集もある。最低賃金では人が集まらない」と指摘する。

時給の引き上げが必要となる職種は、大学生や高校生、高齢者を雇用する飲食業、清掃業、販売サービス業に多い。最低賃金の改定額を話し合う8月の岐阜地方最低賃金審議会では、使用者（経営者）側が、価格転嫁が十分に進んでいない現状を説明した上で、「県内は中小企業と小規模事業者が99・9%と高く、経営体力が強いという実態を視野に入れた議論が必要」と、引き上げに不満を示していた。